



令和6年度 学校教育目標

郡山小学校では令和6年度教育目標として「仲間と支え合いながら自信をもって意欲的に学び活動する、心身ともにたくましい子どもの育成」です。目標実現のために児童、保護者、地域の方々、教職員が力を合わせて誠実に取り組んで参りたいと思います。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

I めざす学校像

【天栄中学校区 めざす子ども像】

「互いを認め合い自らの可能性を信じ
未来を切り拓く子どもの育成」



【めざす学校像】

「みんなの えがおが うれしい学校」

- 学ぶことが楽しいと思える学校 <自分が笑顔>
- 仲間と共に生きる喜びのある学校 <友だちが笑顔>
- 保護者や地域と共に歩む学校 <地域が笑顔>

【めざす子ども像】

- 自ら学び、協働して粘り強く課題を解決しようとする子 <知>
- 違いを認め合い、人の気持ちを受け止めわかろうとする子 <徳>
- 健康で安全な生活を心がけ、自ら体を鍛える子 <体>

II 基本方針

- 学ぶ楽しさ、できる喜びを感じられる授業づくり（やりぬく力）
- 自分が認められ、自己肯定感を高められる場づくり（自己肯定感）
- 人権を大切に、仲間と支え合い、共に生きる集団づくり（社会性・自制心）
- 保護者や地域と共に歩む学校づくり



鈴鹿市で大切にしている4つの「非認知能力」

本年度から、鈴鹿市は「学力向上」に加えて「非認知能力」の育成にも力を入れていきます。偏差値やIQ等数値で表せる力を「認知能力」と呼び、一方テスト等では測れない、目に見えにくい力を「非認知能力」と呼びます。「非認知能力」の中から、「やりぬく力」「自己肯定感」「社会性」「自制心」の4つの力を学校生活で育成していくことに力を入れていきます。

【4つの力】

- ・やりぬく力：あきらめずに頑張れる
- ・自制心：計画的に行動する、よくないことはがまんする
- ・自己肯定感：自分を大切に思える、自分には良いところがあると思える
- ・社会性：困っている人を助ける、協力して活動する

【学校で取り組んだ内容】

4年生～6年生では、「非認知能力」について学ぶ授業を行いました。「非認知能力」の中の「やりぬく力」「自己肯定感」「社会性」「自制心」について、「今までの自分はどうかだったか」を振り返ってみました。そして、これからの学校生活で「どんな場面で、どんな行動ができる自分を目指すか」を考えてみました。



《今までの自分を振り返ってみて》

宿題をやりたくないと思い、あとまわしにしていました。

わからないところがあったとき、あきらめていました

ろうかですら走ったり、ふざけたりして、ルールを守れなかった。

自分を友達と比べて、自分は良いところが全然ないと自分を否定していました。

《今後にむけて》

やりぬく力をつけたいです。将来大きな壁がぶつかってきたときに、すぐに投げ出してしまうないようにしたいです。

誘惑に負けず、先のことを考えて計画的に行動したいです。

自己肯定感をつけて、自信をもって発表できるようになりたいです。

社会性をつけて、困っている友達がいたら、助けたいです。

【非認知能力を伸ばすために】

家での生活の中で、「やりぬく力」「自制心」「自己肯定感」「社会性」の4つの要素にかかわる言動が見られたら、そのことについてほめてあげたり、「～ができているね」と認めてあげたり、「こんな、良いところがあるんだね」と本人が気づかない良い面に気づくようにしてあげたりするなど、声かけをしてあげてください。周りの人からの肯定的なフィードバックこそが、非認知能力を伸ばすために大事なことになります。